

令和4年度 新政あいち県議団議会役員等

●新政あいち県議団役員

団 長	長 江 正 成 (瀬 戸 市)	副 団 長	渡 辺 靖 (西 尾 市)
幹 事 長	天 野 正 基 (小 牧 市)	副 幹 事 長	樹 神 義 和 (豊 田 市)
総 務 会 長	福 田 喜 夫 (日 進 市 及 び 愛 知 郡)	副 総 務 会 長	お お た け り え (豊 川 市)
政 策 調 査 会 長	黒 田 太 郎 (千 種 区)	副 政 策 調 査 会 長	桜 井 秀 樹 (豊 田 市)
監 事	谷 口 知 美 (昭 和 区)	監 事	廣 田 勉 (豊 橋 市)
常 任 顧 問	塚 本 久 (北 区)		

●議会役員等

常任委員会	総務企画(4)	理事	天野正基	塚本久	高橋正子	朝倉浩一		
	県民環境(4)	委員長	おおたけりえ	理事	高木ひろし	黒田太郎	小木曾史人	
	福祉医療(4)	委員長	永井雅彦	理事	谷口知美	渡辺靖	鳴海やすひろ	
	経済労働(4)	副委員長	安井伸治	理事	富田昭雄	安藤としき	日比たけまさ	
	農林水産(4)	副委員長	松本まもる	理事	久野哲生	福田喜夫	廣田勉	
特別委員会	建設(4)	理事	長江正成	森井元志	水谷満信	鈴木まさと		
	教育・スポーツ(4)	委員長	西久保ながし	理事	かじ山義章	佐波和則	河合洋介	
	警察(4)	副委員長	桜井秀樹	理事	鈴木純	樹神義和	嶋口忠弘	
	議会運営委員会(5)	副委員長	佐波和則	理事	天野正基	黒田太郎	長江正成	福田喜夫
	行財政改革・地方創生調査(4)	理事	かじ山義章	久野哲生	鳴海やすひろ	廣田勉		
一部事務組合	産業イノベーション推進(4)	委員長	安藤としき	理事	西久保ながし	佐波和則	嶋口忠弘	
	安全・安心対策(5)	副委員長	日比たけまさ	理事	塚本久	長江正成	森井元志	樹神義和
	人づくり・福祉対策(4)	委員長	水谷満信	理事	高橋正子	天野正基	おおたけりえ	
	アジア・アジアパラ競技大会調査(4)	理事	高木ひろし	永井雅彦	鈴木まさと	安井伸治		
	新型コロナウイルス感染症対策(6)	副委員長	高木ひろし	理事	安藤としき	西久保ながし	永井雅彦	朝倉浩一
審議会	競馬(3)	議長	鈴木純	福田喜夫	桜井秀樹			
	競輪(3)		河合洋介	朝倉浩一	黒田太郎			
	名古屋港(5)		富田昭雄	谷口知美	渡辺靖	松本まもる	小木曾史人	
	政治倫理審査会(5)	副会長	富田昭雄	かじ山義章	安藤としき	谷口知美	水谷満信	
	屋外広告物(1)		樹神義和					
都市計画(2)	常務委員	鈴木まさと	嶋口忠弘					

県政 TOPICS

新政あいち県議団 政策推進議員連盟

私たちの県議団には次の7つの政策推進議員連盟(議連)があります。①観光・地域振興、②多文化共生、③健康と食、④中小企業振興、⑤介護、⑥私学振興 子育て支援、⑦子ども・若者、の各議連です。議員はそれぞれの問題意識によって各議連に所属し、調査・研究を行い政策推進に生かしています。今年度の私たち県議団運営方針4本柱の一つが「政策推進議員連盟での調査研究活動の推進」です。皆さまのお声をお聞かせいただきながら、議連活動にも力を入れていきます。



長江正成 県政レポート

2022年 夏号
愛知県6月定例議会特集
(編集・発行) 県議会議員(新政あいち)
長江正成事務所
〒489-0881 瀬戸市熊野町83番地の8(尾張瀬戸税務署南隣)
TEL(0561)85-5195 FAX(0561)82-1375
E-mail:masanari@nagae.info
URL:https://www.nagae.info

前向きな「未来の形」にする県政進展!

令和4年度が始まり、新政あいち県議団は長江正成(瀬戸市4期)を団長に選出し、新たな体制が始動しました。新型コロナウイルス感染症は一頃よりは落ち着いているとはいえないものの、引き続き警戒を怠ることができない状況である中、ロシアのウクライナ侵攻により国際情勢の不安定感が強まり、物価も上昇傾向を続けるなど、内外で不安要素を抱える新年度のスタートとなりました。

5月27日に召集された臨時議会では、コロナ関連補正予算と同時に今年度の県議会議長、各委員会の構成などの議会人事を決議しました。

また、6月15日から7月4日の日程で6月定例議会が開催され、明治用水頭首工の漏水対応、原油価格・物価高騰への対応、コロナ対応等のための補正予算約170億円ほか可決されました。

今年度の新政あいち県議団は、①感染防止と社会経済活動の両立に向けた対応と対策、②部会・総務会・政策調査会の充実、③政策推進議員連盟での調査研究活動の推進、④議員活動がわかる広報戦略(県民への周知)の推進、を4本柱として運営してまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



大村知事に要望書を提出する新政あいち県議団 新五役

◆大村知事へ要望(6月7日)
また、事態の長期化が懸念される状況となったことから、大村知事に対し、危機管理に関する体制強化、水利用者及び受水事業者に対するサポート体制の強化、安定的な水量確保について引き続き国への申し入れを要望。

◆東海農政局へ要望(5月23日)
5月17日に発生した明治用水頭首工における大規模な漏水により、農業用水、工業用水の供給地域では必要な水量の確保に苦慮していることから、東海農政局長に対し、適切な情報提供、抜本的な対策、救済・支援策を要望。



東海農政局長に要望書を提出する長江団長



新政あいち県議団
団長 長江 正成

明治用水頭首工漏水事故をうけ、
新政あいち県議団から東海農政局長
および知事へ要望



福田 よしお
総務会長
(日進市及び愛知郡、2期)

新政あいち県議団 代表質問から

(6月17日 本会議)

安心・安全で「日本一元気なあいち」をめざして

主な質問①
アフターコロナを見据えた
中小企業支援等について

知事 県内の経済活動を守り抜くために、中小・小規模事業者の資金繰りを支援する県融資制度の拡充、休業要請等により協力金と応援金を3,900億円以上支給したり、プレミアム商品券や旅行の割引等を行うキャンペーン、そして11月のジブリパークの開園を活かして「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信し、観光消費の拡大につなげていく。

主な質問②
明治用水頭直上大規模漏水の
対応について

知事 発災直後の17日深夜古本副知事

主な質問③
持続的な本県農業の
振興について

知事 新規就農者の相談の窓口を県内8か所と県農業大学校に農起業支援ステーションを設け、就農前の研修や就農時の農地や施設のあっせん、就農後のサポートも実施。また有機農業を環境負荷低減に位置づけ国の「みどりの食料システム戦略」により有機農業者を育成する仕組みづくりと商業施設等との連携、消費者の理解を醸成するイベントの実施などを支援していく。

主な質問④
ヤングケアラーの支援・取組
について

知事 前年度の調査結果を踏まえ

主な質問⑤
教員の多忙化解消と部活の
地域移行について

教育長 県立学校は教員が出退勤時にタブレット端末の電源オン・オフで在校時間を客観的に把握し、教員が自ら時間外勤務の従事内容を入力。市町村立学校は各市町村教委がICカード等により教員の勤務実態を把握し、各学校の業務分担の見直しや適正化を進めている。部活動の地域移行は国の「地域運動部活動推進事業」を受託し、実践研究成果を踏まえ運動部文化部を問わず子供たちが部活動を通して成長していけるよう段階的な地域移行を進めていく。

主な質問⑥
中高一貫教育制度の
導入について

教育長 中高一貫校は進路選択の幅が広がる、中高6年間のゆとりあるカリキュラムを編成することで「探究的で深い学び」が可能となるが、受験の低年齢化や大学受験を意識し学習進度が早くなりすぎる可能性がある。また併設中学校に中学生の指導に長けた高校教員を配置するため、中・高の人事交流を行い中学生を指導できる高校教員の育成を進める。

主な質問⑦
「黄色信号は原則停止」で
事故抑止

警務本部長 交通事故の発生状況、自動車や歩行者等の交通量、道路形状等を踏まえた上で、交通取締りと「歩車分離式信号」の設置や信号灯器のLED化、横断歩道等の道路標識・標示の更新整備など交通安全施設の視認性を高めドライバーに交差点の存在を認識させ、ソフト、ハード対策の両面で交差点対策を推進し交通事故を抑止して行く。

詳しくは愛知県議会ホームページ
<https://www.pref.aichi.jp/gikai/>

新政あいち県議団 一般質問から

障がい者が利用しやすい県体育館に



高木ひろし議員
(瑞穂区、5期)は、2026年に向けて建設が始まる県新体育館について、ユニバーサルデザインに反する大階段上のエントランスの改善策を県に迫った。県はスロープ、エスカレータの併設、エ

また、設楽ダムの事業費増と工期延長に関しても質問。ダムの安全性や費用対効果の再検証が必要なことなどを提起した。

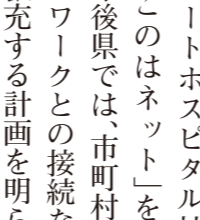
ICT技術を活用して障害者福祉の充実を



森井元志議員
(守山区、4期)は、医療現場のDX、スマートホスピタルは、

「施設福祉」から「地域福祉」へと変わる障害者福祉の現場で大きな期待が寄せられている。県では昨年度から医療療育総合センターでス

ICT教育格差解消と県の役割について



おたけりえ議員
(豊川市、2期)は、ICT教育の市町村格差の解消に向けて、研修体制、外部人材の派遣やマッチング、先進事例紹介など、県が役割を果たすべきと提案した。これに

対し、教育長は、今年度から新たに「ICT教育推進課」を設置し、ICT環境の改善はもろろんのこと、効果的な研修による教員のICT指導力の向上、さらには外部の人材や学習用ツールの積極的活用により、小・中・高校を通じて、質の高いICT教育を切れ目なく行っていくと答えた。

外国人児童生徒等教育の推進について



朝倉浩一議員
(半田市、2期)は、外国人の子どもたちが通える地域日本語教室の普及に向けた取組状況と小中学校における日本語教育の取組状況と、プレスクールの普及に向けた今後の取組について伺った。

プレスクールは、外国人の子供が小学校入学後の生活に適應するための重要な学びの場で、今後、市町村において増加することが考えられるので、国庫補助事業を活用し、プレスクールに対する支援ができるよう、県教育委員会として、外国人の子供たちが安心して学校生活を送り、成長していけるよう、日本語教育の充実を図ると答弁。

公共交通の維持・存続に向けて



廣田 勉議員
(豊橋市、1期)は、近年、地域公共交通を取り巻く環境は、より

一層厳しい状況にある中、公的主体责任や役割をより明確にし、ながら積極的に支援策を講じることが重要であり、公の果たす役割について質問した。答弁では公共交

通の確保・充実に向け、これまで以上に積極的に関与していくのとことだったが、地域の実情をしっかりと把握し、関心を持って目を向けていただくとともに、官民連携の

在り方を含め、さらに踏み込んだ公共交通の利用促進のための支援の形を構築していただくよう強く要望した。